

粟井地区村創りの会

第三十七回 田植え祭り

【六月 五日】



春日神社、粟井宮司さんを迎えての神事による「田植え祭り」が、粟井小学校とその前の水田で開催されました。粟井地区民限定ではありませんでしたが、二年ぶりに子ども達も参加して、以前に近い形で行われました。五穀豊穣とコロナ禍終息をみんなで祈念しました。



粟井地区社会福祉協議会

第一回 福祉会議

【五月十三日】



美作市社協・松本さんから「福祉会議について」の説明を聞き、昨年度末に決めていた今年度の活動計画を確認しました。今年度の第二回福祉会議では、活動計画の見直しを行うことを決めました。地域の困り事を社協役員まで申し出て下さい。取り組みに活かしていきます。

令和四年度「見守り会議」

【五月二十七日】



今年も見守り会議を行いました。各区域で見守りが必要と思われる人を探し出し、このように見守っていくか検討しました。地域包括支援センターの菊池さん、社協の作東担当の松本さん、芦田さん達がリードしてくれました。お互いの見守りで安全、安心な地域にしたいものです。見守りが必要と判断された人には、これから社協の担当者と一緒に家へ伺い、説明があります。お互い様なので、遠慮無く依頼して下さい。



美作市自治振興協議会役員総会

【五月二十七日】



■環境部会について
美作市環境衛生協議会が自治振に加わり、市内の環境衛生協議会の各区域毎の活動と組織について協議しました。環境協議会の会長からは、美作市で統一したクリーン作戦をしてはどうかとの提案がありました。来年度からの実施に向けて、各区域で検討していくこととなりました。

美作市からの報告

★小林危機管理監より美作市役所新庁舎整備に向けて、位置や設計のイメージ図、工事予定などが報告されました。鉄骨二階建て、中央吹き抜け、ワンフロアの素晴らしい提案書が示されました。
★フレイル(虚弱)予防について、健康政策課より報告がありました。コロナ禍で世界的に課題となっているフレイル予防について、美作市としても積極的に取り組んでいくとの報告がありました。

粟井地区の農業を考える。

美作市農業再生協議会総会

【五月二十五日】

令和三年度事業報告、収支決算報告、令和四年度事業計画、予算案は、概ね了承された。水稲作付け率も約52%と昨年と大差なし。協議が熟を帯びたのは、経営所得安定対策事業と令和四年度一月に農水省より示された「令和四年度水田活用の直接支払交付金の拡充 見直しについて」に関するものである。交付対象水田の見直しについて●水張りが出来ない農地(畦畔や水路がない農地等)はH29年からの現行規定でも公布対象外。●転作物物が固定化している水田の畑地化をうながすとともに、水稲と転作物物のブロックローテーション体系の再構築を促すため、現行の課題を検証しつつ、今後5年間(R4年～R8年)に一度も水張りが行われない農地は交付対象水田としない方針。と宣言について、出席者からは反対意見を集約して市内全域で反対していることとの提案があり、そのように決定した。市内の全ての中山間地域等直接支払交付金事業に取り組んでいる組織に、農業政策課が中心となってアンケートを取ることにした。趣旨は分かるが不在地主が多い地域において、交付金だけで管理をしている組織には大変な痛手である。

ふれあいの集い 作品展より



ちぎり絵、書道、編み物、面、日本画、木工作、折り紙人形、盆栽、手芸作品などどれも力作ぞろい、素晴らしい作品でした。みなさん、ご協力ありがとうございました。



「編集後記」 田植えもほぼ終わり、併せて麦刈り、黒大豆の播種も終わり、農作業も一段落。これからは、小豆やキャベツ、ブロッコリーなどの播種がまわっている。田植え時期に考えられる環境問題、それは便利な一発肥料を使うことで発生するフロン問題である。気候変動だけでなく、海の資源にも影響を与えているプラスチック製品。農作業を格段に楽にし収量を増やす化学肥料、持続可能な農業を目指して、正しい使用方法をしっかり学びたい。